

「地域除雪活動☆実践ガイドブック」【町内会・自主防災会向け】【行政職員向け】 要旨

背景・目的

- 過疎化や高齢化の進展等により地域の雪かきの担い手が不足する中、共助による地域除雪の普及が求められている。
- 近年、局地的・集中的な降雪の傾向がある中で、高齢者自ら屋根の雪下ろし等を実施し、事故にあう状況も多発している。
- 地域除雪の普及のため、「共助による地域除雪の手引き(H20年度策定・H21年度改訂)」があるが自治体等での活用は低調である。
- 豪雪地帯対策特別措置法、豪雪地帯対策基本計画が改正され、「地域における除排雪の体制の整備」に係る規定等が追加された。

➡ **◆ 共助による地域除雪の普及・定着を図るために、「共助による地域除雪の手引き」を全面的に改定する。**

特徴

★分冊化～対象者・ねらいに応じた使い分けが可能！

- ・ 町内会・自主防災会等の地域リーダー向け、行政の担当職員向けのガイドブックを作成している。

ねらい 対象者	問題の気づき	地域除雪の普及
町内会、自主 防災会等の 地域リーダー	<p>●町内会・自主防災会向け ・住民が問題に気づき、取組の必要性を理解してもらうための広報資料</p> <p>●行政職員向け ・行政が地域住民を巻き込み、共助による地域除雪を仕掛けていくための、ノウハウを掲載した解説書</p>	
行政の担当 職員		

★パワーポイント～見やすく、自由に編集・加工が可能！

- ・ イラストなどを凝らしたパワーポイントで作成している。
- ・ 使う側は、使いたい部分だけを抜き出して独自の資料として編集・加工ができる。

★事例充実～除雪ボラセン設置のケーススタディ等紹介！

- ・ 近年の豪雪経験を踏まえて、豪雪地帯で先進的に取り組まれている共助による地域除雪の取り組み事例を充実している。
- ・ また「行政職員向け」では、H24年度、尾花沢市に設置された除雪ボランティアセンターの設立から運営までの詳細を紹介している。

内容

	資料構成	主な内容
町内会・自主防災会向け	① 地域の問題は何か(問題認識)	● 地域における冬期生活の問題を例示 (例:雪下ろし困難な高齢者の増加、雪下ろし業者不足、空家の増加、通学路の除雪対応等)
	② どんな対策があるのか(先進事例)	● 「初級編」、「中級編」、「上級編」の段階別に各地の事例を紹介 (初級編:防災活動の一環として地区住民が地区内をパトロール 中級編:地域住民がボランティア組織を設立し地域内高齢者宅の除雪 上級編:地域外から除雪ボランティアを受入)
	③ どうすればできるのか(具体的な実践手順)	● 7つのステップにわけて手順を紹介 (①地域の話しあい ②地域の課題認識 ③課題の優先度 ④解決策の立案 ⑤実践活動の決定 ⑥活動実施 ⑦活動の振り返り)
	④ 進める上での注意事項は(ノウハウ)	● 除雪作業の安全確保(事故防止のポイント等)、行政との効果的な連携(活動費用支給、機材貸与等)、外部の専門家(大学、NPO法人等)の活用について、解説
行政職員向け	1 地域除雪活動とは	● 地域除雪活動の定義、● 地域除雪活動の実施状況、● 地域除雪活動の実施イメージ
	2 地域除雪活動が求められる背景	● 要援護世帯の増加と除雪作業の担い手不足、● 豪雪・大雪時における多数の犠牲者、● 1人での除雪作業中の事故が多発
	3 地域除雪活動の効果	● 住民、地域、行政に対する地域除雪活動の効果(メリット)
	4 行政に期待される役割	● 行政が関わることの重要性、● 行政の役割(地域への協力・支援)
	5 地域除雪活動 全体の流れ(イメージ)	● 地域除雪活動の4段階のサイクル ①準備段階→②話し合い段階→③実践段階→④振り返り段階
	6 地域除雪活動 手順とポイント	● 地域除雪活動の4段階(7つのステップ)について詳述 ※町内会・自主防災会向けの「③どうすればできるのか」と関連
	7 事例から学ぶ地域除雪活動のポイント	● 地域の自主的な活動事例(青森市等)、● 行政支援を活かした活動事例(村山市等)、● 行政・公的機関等が主導した活動事例(長岡市)
8 ケーススタディ	● H24年度、尾花沢市に設置された除雪ボランティアセンターの設立から実践までの活動状況	
参考	● チラシデータ(よくある除雪作業中の事故と対策)内閣府・国交省	